

ひがしちゆうおう
都市計画道路 東中央線
きづ かみこま
(木津川市木津～山城町上粕)

都市計画道路東中央線は、木津川市の京奈和自動車道木津ICから関西文化学術研究都市木津地区を縦貫して、一級河川木津川を渡り、国道163号に至る幹線道路です。

本事業区間と国が整備する都市計画道路天神山線（木津東バイパス）とのネットワークにより、住宅、研究施設、企業の立地など計画的なまちづくりに資するとともに、交通分散による中心市街地部の渋滞緩和を図ります。

更に、木津川を渡河する新しい橋りょうを整備することにより、国道24号が災害・事故等により通行止となった場合の代替路線が確保され、防災機能の向上を図ります。

平成29年度は、引き続き用地補償、道路築造工及び橋梁上下部工を推進します。

◎事業概要

全体計画	H28までの実績	H29計画
事業期間：H21～H30 事業延長：1,430m 幅員：12m 総事業費：約61億円	事業概要：測量調査 用地補償 築造工事 橋りょう上下部工事 事業費：約28.9億円	事業概要：用地補償 築造工事 橋りょう上下部工事 事業費：約17.9億円

◎事業効果

- 関西文化学術研究都市木津地区のまちづくりを支援します。
- 交通分散による市街地中心部の渋滞緩和を図ります。
- 木津川を渡河する新たな橋りょうを整備し、防災機能の向上を図ります。

現在の状況（市街地中心部）



施工の状況（木津川渡河橋りょう部）



位置図

